

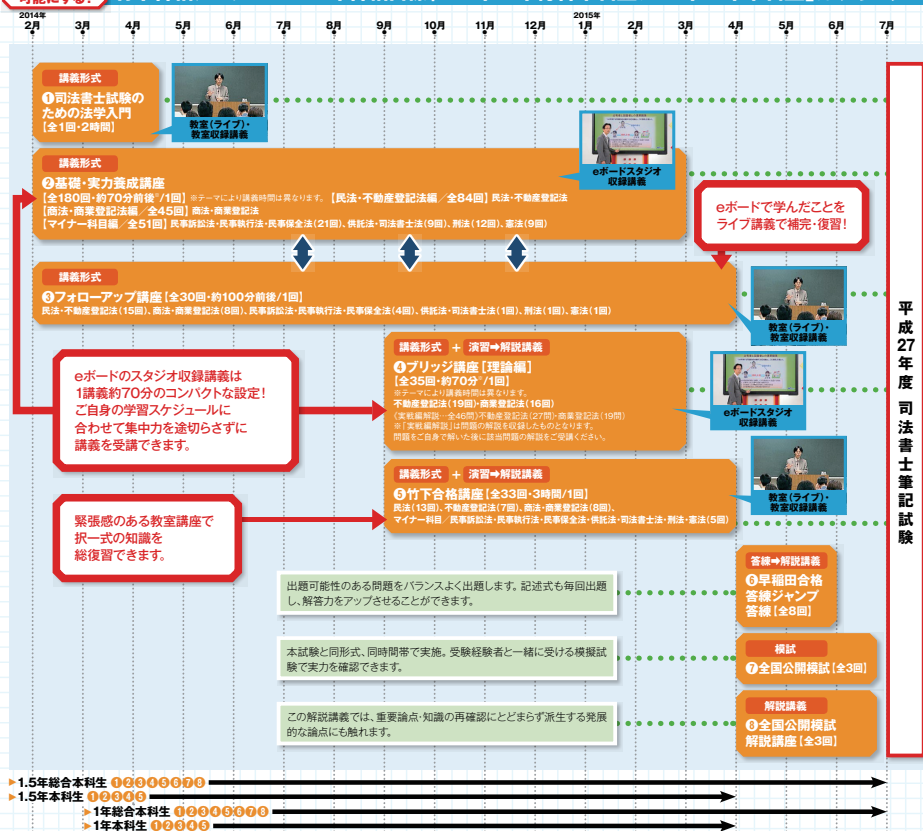


2014年目標<竹下合格システム>

画期的な学習システムによる効率的カリキュラムと
反復学習の相乗効果で短期合格を可能にします！

本合格システムの最大の特長は、「基礎・実力養成講座」で基礎知識を習得し、さらにその後「フォローアップ講座」、「竹下合格講座」で知識の整理と再確認を行えるところにあります。この中で最もボリュームのある「基礎・実力養成講座」をeポートによるスタジオ収録の講義で効率良く学習できることが、その後の反復学習を可能にしています。

短期合格を可能にする！ 竹下合格システム 2015年合格目標「1.5年・1年総合本科生、1.5年・1年本科生」カリキュラム



司法書士試験を初めに理解することで、有効な試験対策が可能に！(体験入学対象講座)

試験の全体像、試験科目の理解、各科目の関連性や今後の学習指針など、司法書士試験についての理解を深めます。試験内容を理解した上で学習することは試験を克服するためには重要となります。

実体法と手続法を関連づけた学習で、基礎知識を効率良く習得！

法律の運用範囲や関連性を考慮し、特に主要4科目は、法律の規則を定めた実体法(民法・会社法)とその法律を実行に移すための手続法を定めた手続法(不動産登記法・商業登記法)を相互に関連づけた基礎知識を効率的に習得していくのが大きな特長です。初めて法律を学習する人を念頭に置き各科目の基礎的な事項から説明し、最終的には司法書士試験で合格するに必要とされる情報のすべてを提供する内容となっています。

「基礎・実力養成講座」と連動。「フォローアップ講座」でさらに理解を促進！

「フォローアップ講座」とは
フォローアップ講座は、基礎・実力養成講座の進捗に合わせて、5日前後の講義ごとにそれまで学習した事項のまとめをします。また、関連する過去問等を解くことで、知識の定着を図ることを目的としているため、学習進捗のペースメーカーの役割ともなっています。

択一式の知識を記述式に転換させながら、記述式試験を攻略！

「ブリッジ講座」とは
記述式試験で高得点を取るには、択一式試験の知識を完全させ、その知識をいかに記述式試験の答題に反映させるかが鍵を握ることとなります。このことから「ブリッジ講座」は択一式の知識が実際に記述式でどのように問われるかを解説し、書式例(登記の申請書)やその登記記録例を示して理解を深めます。さらに、「実務解説」では実際に申請書の作成等の練習、解説も行います。

反復学習で知識の整理と実戦力を身につける！

「竹下合格講座」とは
基礎・実力養成講座、フォローアップ講座およびブリッジ講座を受講することによって、主要科目については2〜3回、マイナー科目については2回講義を受けることになりますが、司法書士試験に合格するためには、重要な事項を何度も繰り返し学習する必要があります。そこで、本講座では、これまでで習った知識を情報量アップツールとして受験生の定着である「事前エンハンス」シリーズを使用し、試験で必要とされる知識の整理を行います。また、過去の試験の分析をもとに平成27年度の出題予想し、過去問を解くことで、同時に実戦的な知識も身につけます。

※教室講義で受講する場合も「基礎・実力養成講座」、「ブリッジ講座」はeポートを使用しスタジオ収録の講義を、全国公開模試試験講義は教室収録の講義を個別DVD(教室個別DVD-ROMで視聴)またはWebポートで受講いただけます。
※司法書士試験のための法学入門「フォローアップ講座」、「竹下合格講座」は教室収録(ライブ講義)となります。
※「短期合格システム」(竹下合格システム)は模試講座です。また、受験の模試講座、全国公開模試試験講座の模試出題方式講座ではありません。「早稲田合格答案ジャンプ答案」および「全国公開模試」、「全国公開模試解説講義」の日程は2014年7月下旬発行予定の案内をご覧ください。